

白梅学園短期大学教育・福祉研究センター 発達・教育相談室規程

第1条 本センターに発達・教育相談室を置く。

第2条 発達・教育相談室は、子どもの発達および教育に関わる相談に応じ、指導、助言を行うことで地域サービスに資することを目的とする。

第3条 1 発達・教育相談室に次の室員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員

2 必要な場合に、相談アシスタント等を置くことができる。

第4条 1 室長は、相談員の中から、センター長が委嘱し、その任期は、2年とする。

ただし、再任を妨げない。

2 相談員は、本学の教員で構成し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第5条 発達・教育相談室は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 発達・教育相談
- 二 その他発達・教育相談室が必要と認める事項

第6条 発達・教育相談室実施要領については、別に定める。

第7条 1 発達・教育相談室の運営の為に、発達・教育相談室運営委員会を置く。

2 発達・教育相談室運営委員会に必要な事項は、別に定める。

第8条 発達・教育相談室において取り扱う相談内容は厳秘とする。

第9条 発達・教育相談室で行った事業については、教育・福祉研究センターの活動の一環として教授会に報告する。

附則

この規程は、1996年5月14日から施行する。

2008年（平成20年）4月10日 改定

（2008年4月10日研究員会議承認）